

開催地： 宮城

グループ： テーブルC

2025.8.1

# 末端世代の先進的かつ包括的な 情報科学のソリューション提案

# 末端世代の先進的かつ包括的な 情報科学のソリューション提案

高校生ICT Conference 2025 in 宮城

グループC

# 世代のピックアップ

エリクソンの心理社会的発達段階に基づく分析

- 未成年（乳児期/幼児初期/幼児期/学童期/青年期）
  - ▶ VDT(Visual Display Terminal)症候群の発症誘発
  - ▶ 過依存/思考の放棄
- 高齢者（老年期）
  - ▶ 孤立による精神性ストレスの蓄積
  - ▶ 介護需要と人員供給のバランス崩壊

# 課題の発見・解決に向けて

現状の把握とICTを用いた解決策について —未成年

## ▶VDT症候群の発症誘発

→“画面を用いる”常識の打破 音声を利用

## ▶過依存/思考の放棄

→AIに頼りすぎない教育

→アイデアの具現化・文章化に用いる

→思考の方向性のアドバイスを得る

⇒あくまで思考の主役は自分自身

# 課題の発見・解決に向けて

現状の把握とICTを用いた解決策について —高齢者

## ▶ 孤立による精神的ストレスの蓄積

→ 様々な要因で娑婆に出られない高齢者も参加可能な  
コミュニティの構築

⇒ VR空間での交流

## ▶ 介護需要と人員供給のバランス崩壊

→ 遠隔医療・ロボットミニー手術などの技術を応用し  
遠隔介護ロボットを検討

# 具体的提言

## ICTやAIの活用と課題解決の提案

- ▶画面を見ることの懸念
  - 音声デバイスの活用
- ▶若年期からのICT/AIネイティブ化による思考放棄
  - AIを思考の航海士に
- ▶高齢者の孤立
  - VR空間を用いたコミュニケーションの場を設ける
- ▶日本国内の介護の現場の回復補助
  - 遠隔医療の延長で遠隔介護設備を助成

# 結論

## 今後の方向性

- ▶ VDT症候群などのネガティブ要因を解決しつつ  
近現代の技術を十分に活用した新設備や新環境  
の構築を政府と民間で構築していくことが重要